

town

小さな拠点づくり
Creating a small base



私たちの町をご紹介します



邑南町

布施地区

(銭宝地区別戦略実行委員会)

「銭」と「宝」が 活きる暮らしづくり

邑南町の北部に位置し、川本町と美郷町に隣接している布施地区。「銭(地域資源)」と「宝(人・組織)」が活きる里として、地域の方々は「銭宝(ぜにほう)地区」と呼び親しんでいます。地区内では、有償ボランティアを行う「銭宝の暮らし応援隊」が活躍。小さな地区だからこそ、そこで暮らす一人ひとりの悩みを拾い上げることができ、誰かが困っていることを“地域のこと”として考えることで、誰もが住みやすい地域を目指して活動を進めています。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

邑南町

布施地区

(銭宝地区別戦略実行委員会)



私たちの
アイデア

食で支える
「銭宝キッチン」
(配食サービス)



目標

活動内容

きっかけ

まちのひとの声



1人だと偏った食事になるけど、お弁当だと種類が多くて大助かりです。

徹底して生活に密着した取り組みを実践します。交流の場づくり、暮らし支援に続き、さらに視野を広げて「交通」にも目を向けています。公共交通機関が不便で自由な移動が難しいため、好きな時に好きな所へ行ける仕組みをつくることで、誰もが住みやすい地域にしていきたいです。

「銭宝のくらし応援隊」の配食部が行う配食サービス「銭宝キッチン」。月3回は夕食に、月1回は昼食に、地元食材を使った手作り弁当を希望者宅へ届けています。配達もスタッフが手分けして行うことで、高齢者の健康状態も確認しています。

人口減少と高齢化が進む中、住民が考える「地域をどうしていきたいか」を自治会が中心となってまとめ、「夢づくりプラン(地域計画)」を2004年に策定しましたが、体制の中心となっていた自治会の役員は数年で交代してしまい、計画で描いていた長期的な取り組みはなかなか進みませんでした。そこで、ブレない組織を目指して、地域計画の策定から関わっているメンバーを中心に地域運営組織「銭宝地区別戦略実行委員会」を2016年に立ち上げ、3つの部会で役割分担を明確にして活動に取り組んでいます。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点
づくり

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

邑南町

布施地区

(銭宝地区別戦略実行委員会)



私たちの
アイデア

集ってつながる、
集ってつなげる、
「銭宝の寄り合い処」



目標

活動内容

きっかけ

徹底して生活に密着した取り組みを実践します。交流の場づくり、暮らし支援に続き、さらに視野を広げて「交通」にも目を向けています。公共交通機関が不便で自由な移動が難しいため、好きな時に好きな所へ行ける仕組みをつくることで、誰もが住みやすい地域にしていきたいです。

参加者同士のつながりづくりや健康づくりを目指し、閉じこもりがちな高齢者を対象として週1回、銭宝の寄り合い処「田屋」でサロンを開催。スタッフお手製の昼食を食べた後にはスタッフの指導のもと体操が始まります。。住民も含めた交流サロンも開催し、高齢者と地域とをつなげていきます。

人口減少と高齢化が進む中、住民が考える「地域をどうしていきたいか」を自治会が中心となってまとめ、「夢づくりプラン(地域計画)」を2004年に策定しましたが、体制の中心となっていた自治会の役員は数年で交代してしまい、計画で描いていた長期的な取り組みはなかなか進みませんでした。そこで、ブレない組織を目指して、地域計画の策定から関わっているメンバーを中心に地域運営組織「銭宝地区別戦略実行委員会」を2016年に立ち上げ、3つの部会で役割分担を明確にして活動に取り組んでいます。



小さな拠点づくりとは？

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

小さな
拠点を
つなぐ